来年度の埼玉県公立入試が変わります！

アプスト情報局
2016年1月18日号
発行：アップステーション教務部

昨年末、埼玉県の教育委員会から『平成29年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における学力検査の改善について』という発表がありました。現中学2年生の公立入試試験が変わります。大きく3つの変更点があります。

①理科・社会の試験時間が40分から50分に変更

②数学・英語において、取り組み易い問題の比率を増やす

③数学・英語において、学校の判断により、例外的に問題の一部に応用的な内容を含む「学校選択問題」を実施できるようにする

急な変更のため、知らない方もたくさんいらっしゃると思います。今回の変更には「どのような目的があるのか」。そして、この変更が生徒たちの入試の対策に「どのような影響を与えるのか」。これらについて説明していきたいと思います。

理科・社会の変更の目的

今回の理科・社会の変更の目的は、高校入試を新大学入試制度に即した形にするためです。文部科学省は、この新しい制度への改革の中で「学力」を次のように定義しています。

『基礎的な知識及び技能』
『それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の技能』
『主体的に学習に取り組む態度』
という3つの重要な要素から構成される「確かな学力」のことを指す

それに対して、教育委員会のHP上で、次のような記載があります。

学習指導要領に示された**思考力・判断力・表現力**等の能力をみる問題に対して…

キーワードは「**思考力・判断力・表現力**」です。新大学入試制度が高校入試にも影響を与えています。また、このような「**思考力・判断力・表現力**」をみる問題は、すでに他県の公立入試で出題され始めています。例えば、東京都の社会の問題で、資料を活用し、記述する問題が出題されています（裏面の資料1参照）。今まで、理科・社会の問題は知識を暗記し、それを答えていけば大丈夫でしたが、今後は知識だけあっても通用しません。「考えて気づく、そして説明する」という能力が必要になります。アップステーションでは、今後の授業の中で「考える」ことや「説明する」ことを授業の中で行っていきます。

平成29年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における学力検査の改善について

1.目的

受検生一人一人の基礎的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力等の能力を、より一層適正に測るため。

2.内容

1.学力検査時間の統一

- **社会、理科の検査時間を40分から50分に変更する。**

現在、社会及び理科の学力検査はそれぞれ40分で実施しています。学習指導要領に示された思考力、判断力、表現力等の能力をみる問題に対して、受検生がしっかり考えて解答できる時間を確保するため、社会及び理科の学力検査時間をこれまでの40分から50分に拡大します。このことにより、学力検査の時間は5教科すべて50分になります。

2.学力検査問題の改善

- **数学、英語において、取り組み易い問題の比率を増やす。**
- **学校の判断により、例外的に問題の一部に応用的な内容を含む学力検査（「学校選択問題」という。）を実施することができる。**

数学及び英語の学力検査問題については、正答率が極端に低い問題があるなど難易度の設定等に課題がありました。そのため、数学及び英語の学力検査問題について、受検生一人一人が最後までしっかりと取り組み、力が発揮できるよう内容を改善します。なお、学校の判断により、例外的に問題の一部に応用的な問題を含む学力検査（学校選択問題）を実施することができます。また、「学校選択問題」は県教育委員会が作成します。

3.実施時期

- **平成29年度入学者選抜から実施します。（平成29年3月実施）**

【対象：現中学校第2学年生徒】

2　学力検査問題の例（サンプル問題）

学力検査問題	数学（PDF：401KB）	英語（PDF：599KB）　（リスニング音源（MP3,760KB））
学校選択問題	数学（PDF：340KB）	英語（PDF：584KB）　（リスニング音源（MP3,760KB））

サンプル問題は平成25年度入学者選抜の数学と英語の学力検査問題をベースに作成されています。英語のリスニング問題は共通です。

（参考）平成25年度入学者選抜の学力検査問題（総合教育センター　入試情報のページ）

3　その他

- 学校選択問題で学力検査の実施を希望する高校については平成28年3月末までに公表します。

※ 埼玉県教育委員会 HP より

数学・英語の改善はどのような目的なのか？

「**取り組みやすい問題の比率を増やす**」とありますが、今までの入試問題はどのようなものでしょうか。資料２は、昨年度の入試問題を難易度ごとにまとめたものです。数学からみてみましょう。一番の特徴は、**難しい問題の割合が非常に多い**ことです。そのため、上位の子は、この数学の出来に大きく左右されます。逆に下位の子は、数学で差がつくことがあまりありません。最低限の難易度Ａの問題だけ対策すればよいからです。最初から対策せずに捨てている子もいるくらいです。

そこで、下位や中位の子たちのために「**②取り組み易い問題の比率を上げる**」という改善をしました。

すると、今度は上位の子の差がつかなくなります。そのために「**③学校選択問題を実施する**」ことで対処しています。英語は数学に比べてバランスがとれている感じがしますが、実は１つ大きな問題点があります。それは**難易度Ａの問題がほとんどリスニングである**ということです（９問中７問がリスニング）。それ以外の問題で下位の子が点数をとれるようにしないのです。そこで、数学と同じように取り組みやすい問題を増やすことになったのです。

また、埼玉県の教育委員会のＨＰ上では、サンプル問題が用意されています。それらの問題から改善の意図を読みとることができます。

資料３は、数学の問題の違いです。最初の計算の問題でわかるレベルの違いがはっきりとわかります。**下位の子は今まで通り基本的な問題**がしっかりできれば大丈夫ですが、**上位の子はもっと計算力が必要**な問題をこなさなければなりません。

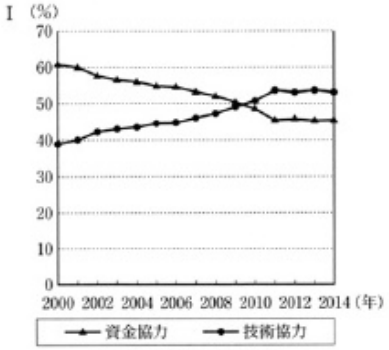
資料４は、英語の検査問題のサンプルです。リスニング問題ではなく、非常に簡単な問題が用意されています。**単語がわかっていれば解ける問題**になっています。

この変化によって、まず上位の子で受験に対する対応の仕方が大きく異なってきます。**上位の子はハイレベルな問題に対する勉強**を増やさなければなりません。とこころが学校がそのような問題を授業中に扱っていないようであれば、別に対応を考えなければなりません。**下位の子**は、**中１や中２の基本の問題**を絶対にできるようにしておかなければいけません。中１や中２の復習をする機会は全くありません。アップステージョンでは、個別に合わせて、この新しい試験に対応できるようにしていきます。

資料１：東京都の社会の問題

〔問３〕資金援助，技術提供など国境を越えた国際協力がますます重要になっている。とあるが，Ⅰのグラフは，2000年から2014年までの，我が国における二国間の政府開発援助（ＯＤＡ）予算に占める援助形態別割合の推移を示したものである。Ⅱの表は，資金協力と技術協力の特徴についてまとめたものである。ⅠとⅡの資料を活用し，近年の我が国における国際協力の変化について，資金協力と技術協力の違いを踏まえて，簡単に述べよ。(3)

Ⅰ



（外務省の資料より作成）

Ⅱ

資金協力	技術協力
○返済義務の有無により，有償と無償の違いがあるが，被援助国に対して資金を直接提供する。 ○被援助国のインフラ整備のための長期にわたる資金や開発に必要な機材等を購入する資金を提供する。	○技術者や青年海外協力隊員の派遣，必要な機材の提供等により，人材育成や技術普及などを支援する。 ○開発に必要な経験や知識，ノウハウを提供することで，被援助国の自律的な発展を支援する。

（外務省の資料より作成）

資料２：数学・英語の難易度

H.27年度 数学・英語の難易度

【数学】

難易度	A	B	C	D	E	合計
点数	20	17	18	10	35	100
問題数	5問	4問	4問	2問	6問	21問
	23.8%	19.0%	19.0%	9.5%	28.6%	100%

【英語】

難易度	A	B	C	D	E	合計
点数	24	29	13	16	18	100
問題数	9問	8問	4問	5問	5問	31問
	29.0%	25.8%	12.9%	16.1%	16.1%	100%

※ 難易度（正答率） A･･･80%以上　B･･･60%以上80%未満
C･･･40%以上60%未満　D･･･20%以上40%未満
E･･･20%未満

【理科】（参考）

難易度	A	B	C	D	E	合計
点数	6	34	25	20	15	100
問題数	2問	11問	7問	6問	4問	30問
	6.7%	36.7%	23.3%	20.0%	13.3%	100%

資料３：数学の検査問題と選択問題のレベルの違い

この問題は学力検査問題（数学）の例（サンプル）です。

1　次の各問に答えなさい。（36点）

(1) $9+6\div(-3)$　を計算しなさい。（４点）

(2) $7x+x$　を計算しなさい。（４点）

(3) $4ab\times3a\div(-8b)$　を計算しなさい。（４点）

(4) $4\sqrt{2}+\sqrt{50}$　を計算しなさい。（４点）

(5) $x=16$ のとき，$x^2-3x-28$　の値を求めなさい。（４点）

(6) ２次方程式　$x^2-6x-5=0$　を解きなさい。（４点）

(7) 連立方程式　$\begin{cases}4x+3y=1\\2x+y=3\end{cases}$　を解きなさい。（４点）

この問題は学校選択問題（数学）の例（サンプル）です。

1　次の各問に答えなさい。（42点）

(1) $\left(\sqrt{6}-\frac{1}{2}\right)\left(\sqrt{3}+\frac{1}{\sqrt{2}}\right)-\frac{\sqrt{3}}{2}$　を計算しなさい。（４点）

(2) $x=9$，$y=-8$　のとき，$x^2-2xy+5(x-y)+y^2+6$　の値を求めなさい。（４点）

(3) 連立方程式　$\begin{cases}0.4x-0.1y=1.3\\2x-\frac{1}{2}=-\frac{1}{6}y\end{cases}$　を解きなさい。（４点）

(4) ２次方程式　$(2x+3)^2-4(x+4)=-1$　を解きなさい。（４点）

資料４：英語の易しい問題

2　さいたまレストランの広告を英語で作成します。日本語の広告を参考に（　1　）～（　4　）にあてはまる適切な１語を，それぞれ英語で書きなさい。（12点）

さいたまレストラン

７月の月曜日と水曜日の特別なランチメニューのお知らせ！

月曜日･･･カレーライス
水曜日･･･スパゲッティー

＊　ランチタイム　１１時から２時まで
＊　学生の方はドリンクが一杯無料
＊　どちらも５００円

Saitama Restaurant

Special lunch menu on every Monday and（　1　）in（　2　）!

Monday･･･Curry and rice
（　1　）･･･Spaghetti

＊　Lunch time is from 11 a.m. to 2 p.m.
＊　Students can（　3　）one free drink.
＊　Every lunch is five（　4　）yen.

（各３点）